

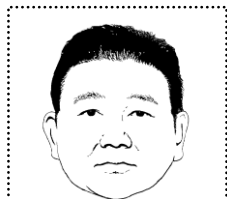
# 総務部経営方針（令和3年度）

総務部長  
危機管理担当部長

今井 隆司  
八田 主税

## ◆部長職からひとこと

総務部長 今井 隆司



昨年来のコロナ禍は未だ収束の見通しが不透明であり、市民生活及び地域経済を支えるための継続的な取組が求められています。市役所業務においても、状況の変化に応じた適時・適切な感染症対策と柔軟な勤務形態の運用に引き続き取り組む必要があります。

総務部は、各部門の事務事業の適正な管理及び執行を下支えし、市民に信頼される市政を推進するため、公文書管理、情報公開・個人情報保護、法務、人材育成・人事、契約、管財、営繕、工事検査等、庁内のガバナンスに関する事務を担っており、行革プランに位置付けた取組を不断に推進していきます。

令和3年度は、引き続き各部門と連携し、コロナ禍の影響による市民の意識と生活様式の変化や、社会全体のデジタル化の動向などを踏まえながら、感染症への対応を含む危機管理体制の強化と併せ、女性職員の活躍推進や行政のデジタル化と連動した働き方改革と市役所業務の変革に取り組みます。

危機管理担当部長 八田 主税



市民の皆さんが安全・安心に暮らし続けられるまちを目指し、災害から身を守り、災害に強いまちづくり・安心して生活できる安全な環境づくりに向けて、創意工夫・改善を図りながら積極的に取り組みます。

災害対策としては、台風被害等を踏まえた災害に強いまちづくり・新型コロナウイルス対策や地域的突発事象への対処など、組織横断的な連携を図りながら対処します。また、防犯対策としては、防犯パトロールの支援、防犯カメラ等の活用、特殊詐欺被害の対策など、犯罪の抑止につなげます。

各対策を効果・効率的に実施するため、限られた経営資源（人材・施設・財源）を最大限に活用し、地域で共に助け合う、災害に強く安全・安心なまちを推進します。

◆職員数 正規職員92人（うち管理職18人） 再任用職員3人（管理職含む）

◆予算（当初）

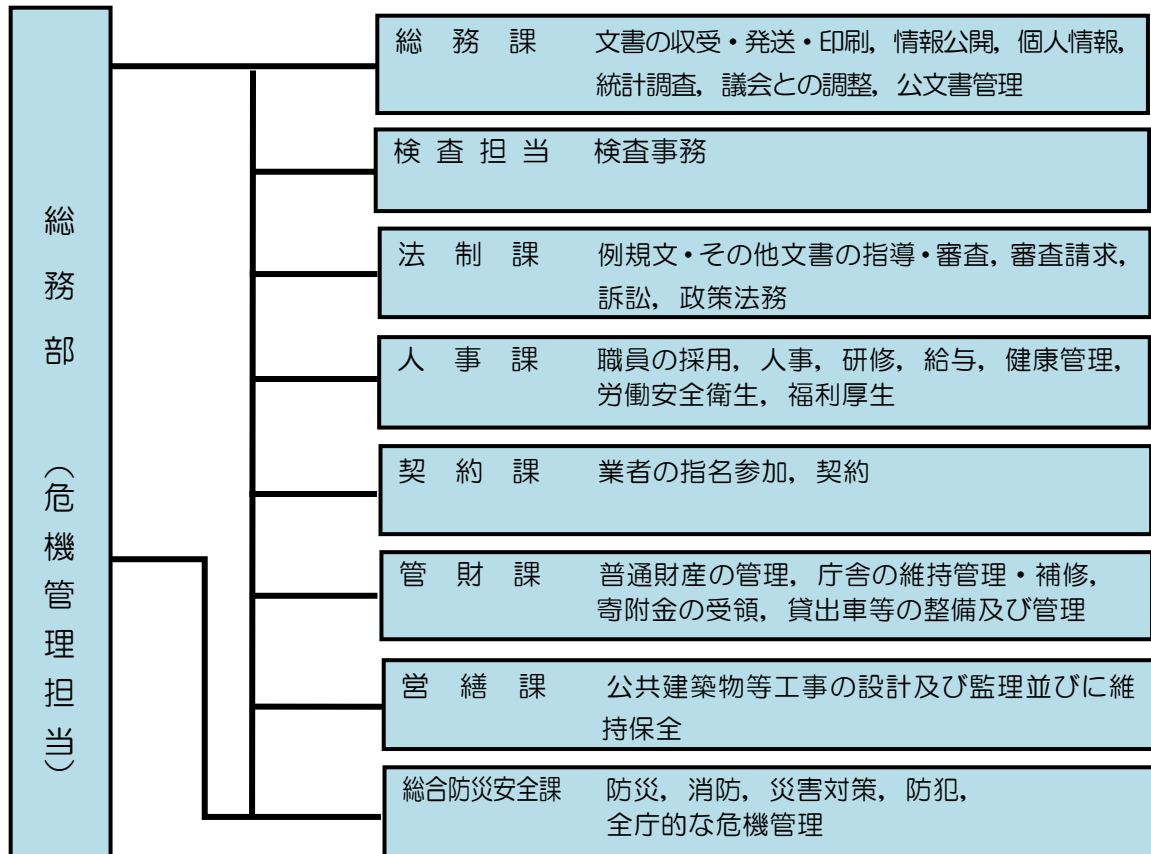
一般会計

歳入 6848万2000円

歳出

64億2812万円  
（職員人件費を除く）

◆組織体系図



## ◆総務部の現状と課題

### ・適正な公文書管理の推進

研修や職員説明会等を通じて、文書の作成から廃棄までの適正管理が全庁的に浸透するよう、関係課と協力した取組を継続することが必要です。

### ・人材の確保・育成

多様化・複雑化する市民ニーズや様々な法改正，社会環境や職員構成の変化への対応を図るため，専門性を有する人材の確保・育成に加え，管理職や若手職員の早期育成が課題となっています。また，法改正を踏まえ，国等の動向を注視しながら定年延長への対応が必要です。

さらに，会計年度任用職員制度の適切な運用のほか，職務に対する意欲を高める仕組みづくり，女性職員の活躍推進も念頭に置き，働き方の見直しとワーク・ライフ・バランスの実現を図り，全ての職員が能力を十分に発揮できる職場づくりを進める必要があります。

### ・入札の不調・中止への対策

公共工事等において，減少傾向にあるものの，技術者や作業員の不足や資材価格の上昇等を背景に入札が不調・中止となり，契約できない状況が発生しています。インフラ整備等に係る市の公共工事を計画的に実施していくため，入札の不調・中止への対策として，引き続き，予定価格の適正な設定や施工時期の平準化などに関係部署と連携して取り組むことが必要です。

### ・普通財産の維持管理及び有効活用

普通財産の維持管理には，個別の特性に応じた維持管理及び利活用が求められています。

### ・市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討

#### ▶市庁舎の長寿命化等の検討

市庁舎については，令和2年5月に免震改修工事が完了したことにより，喫緊の課題であった耐震性の確保がなされたため，今後一定期間使用していくことを前提とした市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討，実施の取組を進めています。

なお，市庁舎の維持保全に当たっては，長寿命化に向けた維持保全シミュレーションシートを作成と，それに基づく計画的な工事等の実施が必要となります。

また，市庁舎狭あい化対策については，6階のレイアウト変更並びに2，3，4，5階の共用廊下及び階段のリニューアルが完了しました。令和3年度は3，8階のレイアウト変更を予定しており，関係各課の所管事業等を考慮のうえ，来庁者等への影響がないよう進めていくことが課題となっています。

#### ▶市庁舎更新に関する方向性の検討

市庁舎更新の検討については，令和4年度の市庁舎更新に関する基金条例（以下「基金条例」という。）の制定に向けた市庁舎更新に関する方向性の検討として，現時点での最有力地である現在の市庁舎敷地における整備手法等の整理を行いました。基金条例の制定に向け，目標額，積立期間及び積立方法等についての検討を進めるに当たり，資料等を整理する必要があります。

#### ▶市庁舎立体駐車場の在り方検討

立体駐車場については，適切な時期を見定め解体工事を実施し，跡地利用については，当面平面駐車場として暫定使用していきます。今後の跡地利用について，市庁舎狭あい化対策等も含め，有効活用に向けた検討を進める必要があります。

#### ▶非常用電源設備整備

令和2年度は，市庁舎及び文化会館たづくりにおける非常用電源の設備整備に向けた考え方を整理しました。令和3年度は，設備整備に向けた考え方に基づく基本設計及び実施設計を行うに当たり，関係部署との調整，整備手法等について検討する必要があります。

#### ・庁用車の安全運転・事故防止対策の取組

庁用車の事故防止については、安全運転意識向上の取組として、複数乗車の呼びかけ、同乗者による安全確認の徹底及び車両保有課でのアルコールチェッカー運用を実施するとともに、運転技術向上の取組として警視庁交通安全教育センターが実施する四輪安全運転教室への職員の派遣を実施しています。また、庁用車全台へのドライブレコーダー設置や、自動ブレーキ付車両の貸出用車両への導入など、安全運転につながる装備の充実を図っています。また、令和2年度にはJAFの講師を招き、運転時に潜むリスクの再認識を目的に、交通安全講習会を開催しました。これらの取組により、近年の事故件数は減少傾向にあります。さらなる事故削減のため、運転手と同乗者の安全運転意識向上が課題となっています。

#### ・公共建築物の維持保全の取組

公共建築物の適切な維持保全を図るため、調布市公共建築物維持保全計画に基づく適正な改修工事等の実施に取り組んでいます。建築物を良好な状態に保つには、引き続き適時適切な改修工事等の実施が必要となります。

#### ・市民の安全・安心の確保に向けた取組

全国的な豪雨や台風等、風水害の多発や令和元年台風19号の課題と教訓を踏まえ、迅速な対応を実施するため、地域防災計画に基づく水防活動について、震災対策と同様に体制を強化する必要があります。

東京消防庁への事務委託による安定した消防力の維持をはじめ、地域防災の要となる消防団の火災対応能力の向上及び消防水利の充実を引き続き図って行く必要があります。

市内で多発する特殊詐欺や身近な犯罪被害の防止に向け、関係機関や地域団体と連携した効果的な取組が求められています。

### ◆総務部経営方針

#### 1 重要課題に対する令和3年度における取組の推進

##### ・安全・安心のまちづくり

令和元年台風19号を受けて、災害対策の充実・強化を図るため、令和3年に修正した地域防災計画に基づき、各種取組を推進します。また、防災・安全情報メールシステム等の情報提供手段の周知等を継続します。「自助」「共助」の取組の促進に向け地域訓練への協力や防災に関する出前講座等の実施、必要となる備蓄品や資機材の提供などによる支援を行い、地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を図ります。

犯罪のない安心して暮らせるまちづくりに向けては、各種犯罪被害を未然に防止するため警察等関係機関と連携し、取組を進めます。

##### ・人材の確保・育成

第2期調布市人材育成基本方針実行プラン（後期）に基づき、専門性を有する人材の確保、各種研修の推進のほか、人事評価制度や昇任試験制度の適切な運用と改善などを通じて、職務に対する職員の意欲ややりがいの向上につなげます。また、女性職員の活躍推進の観点からも、職員の意識・働き方改革を進めます。さらに、法改正を踏まえた定年延長への対応を検討します。

##### ・市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討

市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討・実施については、維持保全シミュレーションシートを作成し、令和3年度策定予定の（仮称）公共施設マネジメント計画への反映を行うとともに、市庁舎狭あい化対策に向けたレイアウト変更を引き続き取り組みます。

また、市庁舎の将来的な更新の検討については、令和4年度基金条例の制定に向け、財源確保方策の検討に取り組んで参ります。

非常用電源設備整備については、継続稼働時間の72時間化を実現するため、非常用電源設備整備の設置に係る基本設計及び実施設計を行い、令和4年度以降の工事に向けて着実に取組を進めて参ります。

立体駐車場については、適切な時期を見定め解体工事を実施し、跡地利用については、当面平面駐車場として使用し、並行して跡地の有効活用について検討いたします。

## 2 行革プラン2019に位置付けた各プラン等の着実な推進

### ・適正な公文書管理の推進

現用文書から非現用文書（歴史資料）まで一貫した管理体制の整備に取り組みます。また、非現用文書については、収集、整理、保存に引き続き取り組むとともに、修復し、デジタル化した文書を公文書資料室に設置している端末で順次公開します。

### ・積極的な市政情報の提供

市が保有する様々な分野のデータについて、統一的なルールに基づき、二次利用しやすい形式（オープンデータ）での公開を進めます。

### ・政策法務能力の向上

任期付法務専門職等による政策法務に関する研修、各職層を対象とした研修、政策法務能力向上に資する情報の発信等を継続的に実施することにより、職員の基礎的な法務能力の底上げを図るとともに、より政策法務の知識が実務で活用できるよう、職員の政策法務能力の向上に取り組みます。

### ・業務上のリスクへの対応

任期付法務専門職による行政実務法律相談事業（通称：法務ドクター事業）や外部弁護士への相談を実施し、予防法務として行政事務執行上の法的リスクを把握し、所管課を法的にサポートするとともに、相談が多い事例については、全庁へ向けた情報発信を行います。

### ・多様な契約手法の検討・活用及び契約事務の適正性の確保

長期継続契約のさらなる活用や複数施設にまたがる同種業務の包括委託化など、他自治体の運用事例等を参考としながら、多様な契約手法の活用について、検討を進めます。

また、プロポーザル手法について、個別の業務内容に応じて、より活用しやすい手法となるようガイドラインの改訂を行うほか、物品契約における制限付き一般競争入札について、令和2年度に引き続き、試行実施を継続します。

### ・普通財産の有効活用・処分

調布市が保有する普通財産（土地）について、適切な日常管理を行う中で、有償による貸付けや行政財産としての活用を推進するほか、必要に応じて売却を行うことで、歳入の確保に努めます。

### ・庁用車の安全運転・事故防止対策の取組

交通安全教育センターで行われる安全運転講習に職員を派遣し、安全運転に対する意識の向上と運転技術の向上を目指します。

### ・公共建築物の計画的な維持保全の推進

公共建築物について適切な維持保全を図るため、調布市公共建築物維持保全計画に基づき適正に改修工事等を行うとともに、定期点検の結果や、施設管理所管部署で把握している不具合等についても併せて対応を図るなど、計画的かつ効率的に取組を進めて参ります。

## ◆総務部の横断的連携による施策の推進

### 1 台風第19号の課題を踏まえた災害対応

令和元年台風19号の課題と教訓を踏まえ、防災市民組織、自治会、地区協議会、防災関係機関との連携強化や、調布市防災対策検討委員会及び各部会での議論や訓練等を通して、災害対応能力の強化を図ります。

令和元年台風19号の浸水被害の検証を踏まえ、狛江市と連携し、樋管開閉に伴う情報伝達及び排水訓練に取り組みます。

避難所を開設する場合に、密集した空間の中での集団生活等により、新型コロナウイルスをはじめとする感染症のリスクが高まる危険性があることから、その防止対策に万全を期することが重要となります。令和2年5月に取りまとめた「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応」を踏まえて、初動要員や避難所担当職員、学校避難所対応職員等を対象に、地域と協働した避難所の運営訓練を実施し、避難所運営マニュアルの改訂に取り組むとともに円滑な避難所運営を図っていきます。

被災者が各種救済制度を速やかに活用できるよう、所管課と連携し、積極的な支援を行って参ります。

### 2 調布市地域防災計画に基づく体制整備

国や東京都の計画修正や防災関係機関からの意見等を踏まえ修正した調布市地域防災計画に基づき、庁内各課との連携をさらに深めて参ります。

### 3 新型コロナウイルス感染症対策に関する対応

新型コロナウイルス感染症対策に配慮し、災害時の避難所となる市内小中学校28校の校舎利用計画を作成しました。今後、地域と協働で作成した「避難所運営マニュアル」の改訂に取り組むとともに計画を踏まえた訓練を実施して参ります。

### 4 新型コロナウイルス感染症や風水害等の危機管理に関する契約事務の対応

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、受注者から申出があった場合などにおける、工事や業務の一時中止、契約変更の手続などについて、施設所管課や関係部門と連携して、適正かつ効果的に契約事務を進めていきます。

### 5 東京2020大会の開催延期に伴う対応（パラハートちょうふ関連を含む）

国や東京都、関係自治体、庁内関連部署と連携し、円滑な大会運営を支援します。

### 6 ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備

時間外勤務の縮減及び定時退庁や年次有給休暇の取得等を推進するため、事務の簡素化・効率化を推進する部署と連携し、業務量の増加への対応や職員の業務改善スキルの向上等を図り、全ての職員が能力を十分に発揮できるよう取り組んで参ります。また、関係部署と連携し、在宅勤務型テレワーク（実証実験含む）の拡充に向けた検討を進めます。

### 7 公共建築物の計画的・効率的な維持保全の推進

維持保全担当者連絡会の開催等により施設管理所管部署の維持保全担当者との連携を強化するとともに、営繕課発行の庁内報により維持保全に関する情報の周知を図るなど、より計画的・効率的に維持保全を推進していきます。

◆各課の基本的な目標・方針等

総務課

・適正な公文書管理の推進

歴史資料の修復・撮影・デジタル化など、公開資料の充実を重点目標とし、保存資料に優先順位をつけるなど、公文書の適正な管理・保存・公開を進めます。

検査担当

・工事成績評定結果の公表

調布市優秀工事表彰要綱に基づく優秀工事表彰の公表に加え、優秀工事には至らない評定点75点以上の工事についても、調布市請負工事成績評定要綱に基づき、工事受注者の技術力の向上や意欲喚起をより一層図るため、優良工事として位置付け、公表します。

法制課

・職員の政策法務能力向上の取組

法務・例規の専門部署として、行革プランに基づき、「業務上のリスクへの対応」と「政策法務能力向上」に関する取組を推進するとともに、行政不服審査・固定資産評価審査制度といった行政救済制度の所管部署として、引き続き、適正な運用に努めていきます。

「業務上のリスクへの対応」及び「政策法務能力向上」の取組については、法務相談事業や各種研修の実施を柱とした、これまでの取組を継続するほか、以下の3点について取組を拡充します。

- ①政策法務に関する知識等のアンケート調査結果を分析し、庁内で情報共有を図るとともに、法務知識の理解度や習得状況を踏まえた、研修内容の改善
- ②法務ドクター相談による相談内容を分析し、法的観点から、事務遂行上の留意点についての情報発信
- ③コロナ禍における3密回避の観点から、研修の実施方法に改善を加え、自席や自宅で研修受講を可能とする映像研修を実施

人事課

令和3年度は、第2期調布市人材育成基本方針実行プラン（後期）及び調布市職員ワーク・ライフ・バランス推進プラン—特定事業主行動計画（第七次行動計画）—の3年目として、目標達成に向けた以下の各種取組を進めます。また、各プランの次期改定に向けて、「職員満足度調査」を実施し、これまでのプランの検証と今後の取組の検討を2か年かけて進めます。

・人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり

採用案内などを通して、市役所の業務の魅力を積極的にPRすることで市政を担う人材の確保につなげるほか、人事評価制度や昇任試験制度の適正な運用と改善、職務・職責を適切に反映させる給与制度の運用などを通じて、職務に対する職員の意欲ややりがいの向上につなげます。また、引き続き、会計年度任用職員制度を適切に運用していくほか、法改正を踏まえた定年延長への対応を検討します。

・人材育成基本方針に基づく研修の推進

第2期調布市人材育成基本方針実行プラン（後期）に基づく各種研修やOJTの推進のほか、自己研鑽意欲を促進し、職員の職務に対する意欲や能力の向上を図ります。

・ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進

「調布市職員ワーク・ライフ・バランス推進プラン—特定事業主行動計画（第七次行動計画）—」や「調布市職員の意識改革・働き方改革推進に関する方針」及び時間外勤務の上限規程に基づき、時間外勤務縮減及び定時退庁の推進に向けた取組や変則勤務・在宅勤務型テレワーク（実証実験含む）の活用による多様な働き方を推進します。

また、女性職員のキャリア形成支援や障害のある職員の活躍推進に取り組むとともに、安心して働き続けられるようメンタルヘルス対策やハラスメント防止などに取り組み、誰もが活躍できる職場環境づくりを進めます。

#### 契約課

##### ・適正な契約事務の推進

入札等監視委員会における入札・契約事務の適正な執行に関する審査を踏まえ、入札・契約制度のさらなる公平性・公正性の確保並びに透明性の向上に努めます。

##### ・多様な契約手法の活用検討

プロポーザル手法について、個別の業務内容に応じた活用しやすい手法となるよう、ガイドラインの改訂を行うとともに、他自治体の取組事例を参考としながら長期継続契約のさらなる活用や複数施設にまたがる同種業務の包括委託化など、多様な契約手法について活用検討を進めます。

##### ・入札の不調・中止への対策

減少傾向にはあるものの、令和2年度も工事請負契約において、入札の不調・中止が発生したことから、予定価格の適正な設定をはじめ、分離発注、施工時期の平準化などについて、関係部署と連携して取組を進めます。

#### 管財課

##### ・普通財産の有効活用・処分

普通財産の貸付等を行い、有効活用を図るとともに、売払い可能な普通財産については処分の検討を進めます。また、管理については固有の特性に合わせ、適正な管理を行います。

##### ・市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討

###### (1) 市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討、実施

市庁舎の適正な維持保全に向けて、公共建築物維持保全等一覧に基づく維持保全工事等の実施をはじめ、市庁舎狭あい化対策に向けたレイアウト変更を進めて参ります。

また、長寿命化に向けた維持保全シミュレーションシートを作成し、(仮称)公共施設マネジメント計画に反映して参ります。

###### (2) 市庁舎更新に関する財源確保方策の検討

令和4年度の基金条例の制定に向けて、目標額、積立期間及び積立方法について検討を進めます。

###### (3) 立体駐車場廃止

立体駐車場解体後の跡地利用については、当面平面駐車場として使用し、並行して有効活用について検討します。

###### (4) 非常用電源設備整備

令和2年度に整理した非常用電源の設備整備に向けた考え方にに基づき、令和3年度は基本設計及び実施設計を行います。

##### ・庁用車の安全運転・事故防止対策の取組

令和2年度に発生した事故は4件と前年度と比較して減少はしていますが、人身事故が1件発生しています。安全確認不足が事故につながったことから、運転手の安全運転意識の更なる向上を目指し、引き続きこれまでの取組を継続します。



## 営繕課

### ・公共建築物の維持保全等の取組

基本計画及び調布市公共建築物維持保全計画に基づき、改修工事等の設計及び工事監理を行います。改修工事等の際には、定期点検の結果や施設管理所管部署で把握している不具合などにも対応するなど、適切かつ効率的な予算の執行に努めます。あわせて、維持保全担当者連絡会の開催等により、施設管理所管部署との連携の強化及び維持保全に関する情報の周知を図ります。

非構造部材の耐震化については、改修工事に併せて実施するなど、取組を進めて参ります。

また、公共施設マネジメント担当と連携し、今年度策定予定の（仮称）公共施設マネジメント計画に、調布市公共建築物維持保全計画を統合します。

### ・環境に対する配慮

調布市公共工事環境配慮指針に基づくほか、計画、設計及び工事監理の各段階で省エネルギー、省資源対策等の環境負荷低減に取り組みます。また、省エネルギー及び省資源対策等の新技術に対する情報収集に努めます。

### ・法令順守等

引き続き、調布市公共施設等シックハウス対策マニュアル、大気汚染防止法等に基づき、使用する資材の選定に配慮するとともに、施工時においても換気を十分に行うなどの対策を講じて参ります。また、石綿予防規則の改正に伴い、必要な手続及び処置について適切に対応して参ります。

## 総合防災安全課

### ・調布市地域防災計画の修正に基づく体制整備

国や東京都の計画修正や令和元年台風19号の課題と教訓を踏まえ修正した調布市地域防災計画に基づき、調布市防災対策検討委員会及び各部会において、防災対策を推進するうえで庁内各部が連携・協力して実施する施策について検討し、体制を整備します。

### ・地域防災体制の充実

防災における自助・共助・公助という基本的な考えのもと、地域防災体制の充実を図ります。

### ・危機管理体制の強化

危機連絡会議における庁内の情報共有や、災害時事業継続計画（BCP）の検証・実践、災害対策本部図上訓練、シェイクアウト訓練等の実施により、危機管理体制の強化を図ります。

### ・消防力の強化

東京消防庁との連携による対応力の確保、消防団の火災対応能力の向上を図り、消防力を強化します。

### ・防犯対策の推進

市民が安心して暮らせる安全な地域社会の実現に向け、警察署や関係団体と連携して特殊詐欺をはじめとする各種防犯対策を推進します。

◆主要な事務事業と到達目標

事業の名称と概要	年度末到達目標
<p>1 適正な公文書管理の推進（総務課） 事業予算：183万円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 文書管理システムの安定的な運用が確保されるよう取り組むとともに、積極的なシステムの活用を促進し、電子化率の向上、ペーパーレス化に取り組みます。</p> <p>(2) 歴史資料の修復、撮影、デジタル化を推進し、公開資料の充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書管理システムの安定的な運用</li> <li>・歴史資料の修復、撮影、デジタル化、公開資料の充実</li> </ul>
<p>2 職員の政策法務能力の向上（法制課） 事業予算：20万7000円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>外部講師を活用した政策法務研修を実施します。 専門的なテーマや、講師の経験談等を踏まえ、より内容を充実できるよう取り組むとともに、受講職員だけでなく、法制課職員にとっても、研修方法や専門的な知見等を参考に、今後の自前の研修に活かせるよう取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の基礎的な法務能力の底上げを図り、職員の政策法務能力の向上に繋がります。</li> </ul>
<p>3 人材の確保・育成と意欲の向上（人事課） 事業予算：2666万3000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>次期プラン改定に向けて「職員満足度調査」を実施します。</p> <p>(1) 人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり ア 市政を担う人材を確保します。 イ 専門分野における人材の活用を推進・検討します。 ウ 会計年度任用職員制度を適切に運用します。 エ 人事・給与制度の適切な運用と見直しに取り組みます。</p> <p>(2) 人材育成基本方針に基づく研修の推進 ア 第2期調布市人材育成基本方針に基づく各種研修を推進します。 イ 各職場におけるOJTを推進します。 ウ 自己研鑽意欲を促進します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市業務等のPRを通じた人材の確保</li> <li>・特定任期付職員等の継続的任用</li> <li>・会計年度任用職員制度の適切な運用</li> <li>・人事・給与制度の適切な運用・改善</li> <li>・方針に基づく各種研修の推進</li> <li>・職場内研修（OJT）の推進</li> <li>・自己研鑽意欲の向上</li> </ul>
<p>4 誰もが活躍できる職場環境づくり（人事課） 事業予算：1779万2000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進</p> <p>(1) 多様な働き方（変則勤務や在宅勤務型テレワーク（実証実験含む））を推進します。</p> <p>(2) 時間外勤務縮減及び定時退庁を推進します。</p> <p>(3) 女性職員の活躍推進に関する取組を推進します。</p> <p>(4) 安心して働き続けられる職場環境づくりを推進します。 ア 育児休業代替任期付職員の採用等の継続、職場復帰（プレワーキングママ）セミナー、女性の健康管理セミナーの実施 イ ハラスメント防止に向けた取組の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変則勤務やテレワーク等の多様な働き方の推進</li> <li>・時間外勤務縮減及び定時退庁の推進</li> <li>・女性職員の活躍推進</li> <li>・育児休業代替任期付職員の確保、ハラスメント防止対策の実施</li> </ul>

<p>5 多様な契約手法の検討・活用及び入札の不調・中止への対策（契約課） 事業予算：28万4000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 行革プラン2019に基づく多様な契約手法の検討・活用</p> <p>(2) 入札・契約制度の適正な運営維持，向上のための取組</p> <p>(3) 主管課契約における契約事務の適正性及び効率性の確保を図るための取組</p> <p>(4) 入札の不調・中止への対策，市内建設業団体及び商工会との意見交換会の実施，施工時期等平準化への取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プロポーザルガイドラインの改訂や長期継続契約のさらなる活用などについて検討を進めます。</li> <li>・入札等監視委員会における審査を踏まえ，入札・契約制度のさらなる公平性・公正性の確保並びに透明性の向上に取り組みます。</li> <li>・契約及び検査事務推進連絡会を活用し，情報共有を進めます。</li> <li>・関係部署と連携を図り，施工時期の平準化や分離発注等の対応を進めます。</li> <li>・意見交換会を通じて，市の入札・契約事務に関する課題等の把握に努めます。</li> </ul>
<p>6 普通財産の有効活用・処分（管財課） 事業予算：95万2000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 普通財産の貸付等を行い，有効活用を図るとともに，売払い可能な普通財産については，処分を検討します。</p> <p>(2) 普通財産の管理については，固有の特性に合わせ，適正な管理を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普通財産の有償貸付等を行うことで有効活用を図ります。</li> <li>・普通財産の適正管理を図ります。</li> </ul>
<p>7 市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討（管財課）</p> <p>(1) 市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討，実施 事業予算：2700万円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>ア 市庁舎の適正な維持保全に必要な維持保全工事等の実施</p> <p>イ 市庁舎狭あい化対策に向けたレイアウト変更</p> <p>ウ 市庁舎の長寿命化に向けた維持保全シミュレーションシートを（仮称）公共施設マネジメント計画への反映</p> <p>(2) 市庁舎更新に関する財源確保方策の検討 事業予算：0円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>市庁舎更新に関する基金条例の制定に向けた方向性の検討結果に基づき，財源確保方策について検討します。</p> <p>(3) 立体駐車場廃止 事業予算：9006万円&lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>立体駐車場の廃止に伴う解体工事を実施します。並行して，跡地利用について検討を進めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎3階内装ほか改修工事</li> <li>▶ 市庁舎3階内装改修工事</li> <li>▶ 市庁舎防火シャッター改修工事</li> </ul> <p>・市庁舎更新に関する財源確保方策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎立体駐車場解体工事</li> </ul>

<p>(4) 非常用電源設備整備 事業予算：1543万円&lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>非常用電源設備設置工事に係る基本設計及び実施設計を行います。</p>	<p>・非常用電源設備設計委託料</p>
<p>8 庁用車の安全運転・事故防止対策の取組（管財課） 事業予算：0円 &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>職員の安全運転意識と運転技術の向上のため、警視庁交通安全教育センターが実施する四輪安全運転教室に職員を派遣します。</p>	<p>・職員の安全運転意識の向上 ・四輪安全運転教室への職員派遣</p>
<p>9 公共施設マネジメントの推進（営繕課） 事業予算：0円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 基本計画及び調布市公共建築物維持保全計画に基づき改修工事等を計画的に実施します。</p> <p>(2) 維持保全担当者連絡会の開催等により施設管理所管部署との連携強化及び維持保全に関する情報の周知を図ります。</p> <p>(3) 施設利用者の安全・安心の確保について、緊急修繕等を含め適切に対応していきます。</p> <p>(4) 調布市公共建築物維持保全計画について、調布市公共施設等総合管理計画及び調布市公共施設見直し方針などを踏まえ、整備方針などの見直しを行い、今年度策定予定の（仮称）公共施設マネジメント計画に統合します。</p>	<p>・関係各課と連携を図りながら、計画的に実施 ・維持保全担当者連絡会の開催及び庁内報の継続した発行</p> <p>【会議の予定】 令和3年5月 ・令和4年度予算編成に向けて、適正な予算確保に取り組む ・調布市公共建築物維持保全計画を統合した（仮称）公共施設マネジメント計画の策定</p>
<p>10 調布市防災対策検討委員会の活用（総合防災安全課） 事業予算：0円 &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>庁内各部署が連携・協力して進める防災施策を検討し、推進していくため、調布市防災対策検討委員会を設置（平成26年3月）。</p> <p>令和3年度においても、災害発生時における職員の災害対応能力の向上を目的とした職員向けの防災研修の充実や避難所対策、二次避難所対策、医療救護対策、帰宅困難者対策、物資物流、被災者生活再建支援システムなどの災害対策ごとの作業部会による検討等を通じて、全庁的な連携・協力による災害対応体制の整備に取り組みます。</p>	<p>・防災対策検討委員会の開催</p> <p>【会議の予定】 令和3年4月 令和3年7月 令和3年10月 令和4年1月</p>
<p>11 防災市民組織の育成（総合防災安全課） 事業予算：974万5000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>地域に根差した防災活動の主体となる防災市民組織の新規結成や育成を推進するため、防災に関する各種講演会や出前講座などの実施、防災備蓄品の提供などによる支援を通して、「自助」「共助」による地域防災力の向上を図ります。</p> <p>また、引き続き、既存防災市民組織及び市民を対象に、これまでの経験や訓練等を踏まえた防災市民組織説明会を開催し、更なる防災市民組織の活動の充実を図ります。</p> <p>令和3年度は、防災市民組織が非常用電源等資機材を購入する際の費用を一部助成します。</p>	

<p>12 防災備蓄品の確保・充実（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：2992万5000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>東京都の被害想定の見直しを踏まえ、緊急医療救護所で使用する医薬品の備蓄を行い、災害時医療体制の充実を図るとともに、引き続き避難所運営を強化するための災害用マンホールトイレや非常用発電機の配備、要配慮者に配慮した防災備蓄品の確保・充実を図ります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急医療救護所用医薬品の充実</li> <li>・災害用マンホールトイレの配備</li> <li>・非常用発電機の配備</li> </ul>
<p>13 災害情報システムの維持管理・充実（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：2億4812万7000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>(1) 災害時に二次元コードで受付を行うことで各避難所の混雑状況が把握できる避難所受付・情報共有システムを整備し、円滑な避難体制を構築します。</p> <p>(2) 現在設置しているアナログ系防災行政無線は、旧規格適合設備であり、使用期限が令和4年11月末日とされていることから、令和4年12月以降も使用できる新規格適合設備に変更する必要があります。移動系については令和2年度に整備完了し、固定系については令和3年度にデジタル化完了に向け、整備を実施します。</p> <p>(3) 市民向けメールシステム、防災フリーダイヤル等の運用を行い、災害時の情報提供・通信システムの多重化に努めます。</p> <p>(4) 災害時に災証明書を迅速かつ円滑に発行するための被災者生活再建支援システムの更新や維持・管理を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所受付・情報共有システムの運用</li> </ul>
<p>14 消防団の対応能力の向上（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：5132万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>(1) 火災・災害時における消防団の対応能力を向上するため、消防資機材や装備品の充実を図ります。また、消防団第5分団及び第10分団の消防ポンプ車を更新します。</p> <p>(2) 消防用具の更新や調布消防署の協力による講習、ポンプ操法大会の実施。また、引き続き、消防団員の災害対応能力の維持・向上に係る体制を確保します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車の更新 2台 (第5分団, 第10分団)</li> <li>・消防団員の災害対応能力の維持・向上</li> </ul>
<p>15 消防水利の整備・維持管理（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：7917万円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>(1) 災害時に迅速な消火活動が展開できるよう、消火栓の新設・維持管理を行います。また、大規模災害発生時に、水道管の破損等により消火栓が使用できない場合に備え、防火貯水槽の設置箇所の検討を行います。</p> <p>(2) 消防施設の老朽化に伴い、第9分団機械器具置場の維持保全工事を行い、第15分団機械器具置場の建替工事に着手します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都水道局による消火栓の新設・維持管理委託</li> <li>・機械器具置場の改修及び建替え</li> </ul>

<p>16 地域での防犯パトロールの支援（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：261万2000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地域防犯力の向上を図るため、パトロール用品の貸与やボランティア保険の加入補助、自主青色防犯パトロール団体への活動費の一部補助などにより、地域防犯活動の充実と活性化に取り組みます。また、地域や行政、警察署と連携した合同パトロールや防犯指導の実施により、地域の安全は地域で守る機運の醸成に向け取り組みます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯指導や合同パトロールの実施</li> <li>・自主防犯活動団体への支援の継続と支援体制の整備</li> <li>・自主青色防犯パトロールの参加団体の増加</li> </ul>
<p>17 犯罪抑止対策の推進（総合防災安全課）</p> <p>事業予算：5416万8000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>青色回転灯を装着した2色塗装車による子ども安全・安心パトロール及び夜間安全・安心パトロールを実施します。そのほか、市が管理する街頭防犯カメラの設置を進めます。</p> <p>特殊詐欺対策として、自動通話録音機の貸し出しを継続して実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つつじヶ丘駅、仙川駅周辺に街頭防犯カメラを設置</li> <li>・自動通話録音機の貸出促進</li> </ul>

◆総務部経営の前年度（令和2年度）振り返り

<ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>適正な公文書管理の推進</b> 公文書の管理・保存に関して、職員に対する研修や説明会を通じて、適正な文書の取扱いを進めました。</li> <li>• <b>積極的な市政情報の提供</b> 市が保有するデータについて、統一的なルールに基づき、二次利用しやすい形式で公開しました。また公共施設の画像データについて、東京都オープンデータカタログサイトで公開しました。</li> <li>• <b>政策法務能力の向上</b> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、集合研修の実施を見合わせたため、在宅勤務で活用する法務研修資料の提供、自宅や自席で受講できる映像研修資料の作成に取り組みました。</li> <li>• <b>業務上のリスクへの対応</b> 行政事務における法的な責任や不利益、紛争事案等の発生を予防または抑制するため、任期付法務専門職による行政実務法律相談事業（通称：法務ドクター事業）などを実施しました。特に、新型コロナウイルス感染症に関連する事務遂行上の相談について、積極的にサポートを行いました。</li> <li>• <b>人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり</b> 市政を担う人材を確保するとともに、専門性を有する人材の確保と育成の取組として、事務（社会福祉）、育児休業代替任期付職員、新たな分野での特定任期付職員を任用しました。また、係長職以下を対象とした目標管理型人事評価や令和2年度からの会計年度任用職員制度の適切な運用を図りました。 人事・給与制度の適切な運用として、給与水準や諸手当については、国、東京都や近隣他市の動向を踏まえた適切な見直しを行いました。</li> <li>• <b>人材育成基本方針に基づく研修の推進</b> 「第2期調布市人材育成基本方針」に基づき各種研修や職場内研修（OJT）の推進のほか、自己研鑽意欲を促進し、職員の職務に対する意識や能力の向上を図りました。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## ・ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進

「調布市ワーク・ライフ・バランス推進プラン―特定事業主行動計画（第七次行動計画）―」や「調布市職員の意識改革・働き方改革推進に関する方針」及び時間外勤務の上限規程に基づき、時間外勤務縮減及び定時退庁を強化するとともに、多様な働き方を推進しました。

また、女性職員のキャリア形成支援に取り組むとともに、安心して働き続けられるよう、労働安全衛生法に基づくストレスチェックの実施等によるメンタルヘルス対策やハラスメント防止対策の強化等、誰もが活躍できる職場環境づくりを進めました。

## ・多様な契約手法の検討・活用及び入札の不調・中止への対策

プロポーザル手法について、ガイドラインの見直しに向け、契約及び検査事務推進連絡会を通じて、職員から意見聴取を行うとともに、物品契約における制限付き一般競争入札について、試行実施を行いました。包括委託については、先行市の東村山市を視察して情報収集しました。

また、工事契約における入札の不調・中止への対策では、最新単価を用いて予定価格を算出すること、繰越明許費等の予算措置を講じて施工時期等の平準化を図ることに加え、同時期に発注する同種工事の開札日程を調整するなどの取組を行いました。

## ・普通財産の有効活用・処分

普通財産の貸付等を行い、有効活用を図るとともに、適正に管理しました。

## ・市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討

平成30年度から実施してきた市庁舎免震改修工事が完了したほか、市庁舎の長寿命化に向け、適正な維持保全のための工事等を実施しました。また、市庁舎狭あい化対策に向けたレイアウト変更に取り組み、6階のレイアウト変更及び共用部分のリニューアルを実施しました。

市庁舎更新の検討については、令和4年度の基金条例の制定を踏まえたプロセスを整理し、市庁舎更新に関する方向性の検討を行いました。

その他、立体駐車場の在り方検討及び非常用電源確保に向けた検討を実施しました。

## ・庁用車の安全運転・事故防止対策の強化

JAFの講師を招き、運転時に潜むリスクの再認識を目的に、交通安全講習会を開催しました。また、警視庁安全教育センターが実施する四輪安全運転教室に職員を派遣し、運転技術の向上を図りました。

貸出用車両へ自動ブレーキ付車両を導入し、安全運転につながる装備の充実を図りました。

## ・公共建築物の計画的な維持保全等の推進

市民生活に直接関わる公共建築物の老朽化対策として、調布市公共建築物維持保全計画に基づく計画的な維持保全の取組を行いました。また、維持保全担当者連絡会を開催する等、施設管理所管部署との連携強化を図りました。

## ・安全・安心のまちづくりに向けた取組

市民の安全・安心の確保に向けて、防犯対策の推進及び災害に強いまちづくりのための地域防災体制の充実並びに消防力や危機管理体制の強化に取り組みました。

令和元年台風19号の教訓を踏まえた災害対策の検討及び取組、被災者支援の充実に努めました。

◆前年度の主要な事務事業の取組状況等

事業の名称と取組内容	達成状況・課題等
<p>1 適正な公文書管理の推進（総務課）            決算見込額：210万円 &lt;基本計画事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行革P</span> その他&gt;</p> <p>(1) 文書管理システムの安定的な運用</p> <p>(2) 歴史資料の修復・公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書管理システムの安定的な運用を実施しました。</li> <li>・歴史資料の修復・デジタル化、公開資料の充実に取り組みました。</li> </ul>
<p>2 特別定額給付金の支給（総務課）            決算見込額：238億6015万4749円 &lt;基本計画事業 行革P <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">その他</span>&gt;</p> <p>「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」の閣議決定を受け事業化された特別定額給付金を支給しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給付対象の99.5パーセントの方へ支給しました。</li> </ul>
<p>3 人材の確保・育成と意欲の向上（人事課）            決算見込額：2282万3719円 &lt;基本計画事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行革P</span> その他&gt;</p> <p>(1) 人材の確保とやりがいや意欲を高める仕組みづくり</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 市政を担う人材の確保</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 専門分野における人材の活用</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 会計年度任用職員制度の運用</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 人事・給与制度の適切な運用・改善</p> <p>(2) 人材育成基本方針に基づく研修の推進</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 第2期調布市人材育成基本方針に基づく各種研修の推進</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 各職場におけるOJTの促進</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 自己研鑽意欲の促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務（社会福祉）、育児休業代替任期付職員のほか、新たな分野での特定任期付職員を任用しました。</li> <li>・職員のやりがいや意欲を高めるため、係長職以下への目標管理型人事評価を適正に運用しました。</li> <li>・庁内公募制を継続実施しました。</li> <li>・「方針」に基づき、各種研修を実施しました。</li> <li>・チューター制度を運用しました。</li> <li>・自己研鑽意欲の促進を図りました。</li> </ul>
<p>4 誰もが活躍できる職場環境づくり（人事課）            決算見込額：1729万1939円 &lt;基本計画事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">行革P</span> その他&gt;</p> <p>ワーク・ライフ・バランスの実現と誰もが活躍できる職場環境づくりの推進</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 多様な働き方（変則勤務や在宅勤務型テレワーク（実証実験含む））の推進</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 時間外勤務縮減及び定時退庁の強化</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 女性職員の活躍推進に関する取組の推進</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 安心して働き続けられる職場環境づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・育児休業代替任期付職員の採用等の継続、職場復帰（プレワークイングママ）セミナー、女性の健康管理セミナーの実施</li> <li>・ハラスメントのない職場づくりの強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「調布市職員の意識改革・働き方改革推進に関する方針」及び時間外勤務の上限規程に基づき、ワーク・ライフ・バランスの実現を図る各種取組を強化しました。</li> <li>・女性職員のキャリア形成支援等を継続実施しました。</li> <li>・メンタルヘルス・ハラスメント防止対策を継続実施しました。</li> </ul>



<p>5 多様な契約手法の検討・活用及び入札の不調・中止への対策（契約課）  決算見込額：11万7000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 行革プラン2019に基づく、多様な契約手法の検討・活用</p> <p>(2) 入札・契約制度の適正な運用，向上のための取組</p> <p>(3) 主管課契約における契約事務の適正性及び効率性の確保を図るための取組</p> <p>(4) 入札の不調・中止への対策，市内建設業団体及び商工会との意見交換会の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物品契約における制限付き一般競争入札の試行実施を行いました。</li> <li>・包括契約について，先行市（東村山市）を視察し，情報収集を行いました。</li> <li>・入札等監視委員会の審査においていただいた意見等を踏まえて，適正に契約事務を執行しました。</li> <li>・契約及び検査事務推進連絡会を開催し，契約関連規定の改正についての周知やプロポーザルガイドラインの改訂に向けた意見交換を行いました。</li> <li>・施工時期の平準化の取組を一層推進するため，関係部署と協議を行いました。また，市内建設業団体と意見交換会を実施したことに加え，物品契約における制限付き一般競争入札の試行実施について，商工会と意見交換を行いました。</li> </ul>
<p>6 普通財産の有効活用・処分（管財課）  決算見込額：105万1460円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>(1) 有償貸付等による有効活用を図りました。</p> <p>(2) 普通財産の適正管理を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有償貸付等による有効活用を図りました。</li> <li>・普通財産の適正管理（樹木等管理業務委託）</li> </ul>
<p>7 市庁舎の長寿命化等と将来的な更新の検討（管財課）</p> <p>(1) 市庁舎免震改修工事の実施  決算見込額：11億730万9456円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>平成30年度に引き続き市庁舎免震改修工事を実施しました。</p> <p>(2) 市庁舎の長寿命化等の視点を踏まえた維持保全の検討，実施  決算見込額：4234万1002円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> その他&gt;</p> <p>基本計画公共建築物維持保全等一覧に基づく維持保全を適正に行うとともに，市庁舎狭あい化対策についても取組を進めました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎免震改修工事</li> <li>・市庁舎免震改修工事監理業務委託 令和2年5月28日完了</li> <li>・公共建築物維持保全等一覧に基づく維持保全工事等の実施</li> <li>・市庁舎放送設備更新工事（繰越）</li> <li>・市庁舎内装ほか改修工事</li> <li>・市庁舎修繕料</li> </ul>

<p>(3) 市庁舎更新に関する方向性の検討  決算見込額：0円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> <b>その他</b>&gt;</p> <p>市庁舎更新に関する財源確保方策の検討（令和3年度予定）に向け、市庁舎更新の基本的な考え方、整備手法及び想定される建物等について調査しました。</p> <p>(4) 立体駐車場の在り方検討  決算見込額：352万0000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> <b>その他</b>&gt;</p> <p>市庁舎立体駐車場は、近年の車両規格の変化に伴い収容可能な車両が限定されてきており、利用台数が年々減少している状況を受け、在り方について検討しました。今後の継続運用に要する経費と利用率を勘案し、立体駐車場を廃止することといたしました。</p> <p>(5) 非常用電源設備整備（72時間化）  決算見込額：0円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> <b>その他</b>&gt;</p> <p>災害等に伴う停電時における市庁舎の電力需要等を調査し、既存設備の課題を抽出の上、今後の考え方について整理しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市庁舎更新に関する方向性の検討</li> <li>・市庁舎立体駐車場解体工事設計委託</li> <li>・非常用電源設備の考え方整理</li> </ul>
<p>8 庁用車の安全運転・事故防止対策の強化、車両等の管理（管財課）  決算見込額：359万9000円 &lt;基本計画事業 <b>行革P</b> <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) J A F 講師を招き安全運転講習会を開催し、安全運転意識の向上を図りました。</p> <p>(2) 貸出用車両に自動ブレーキ車両を導入し安全装備の充実を図りました。</p> <p>(3) 警視庁安全教育センターが実施する四輪安全運転教室に職員を派遣し、運転技術の向上を図りました。</p> <p>(4) 貸出車両及び庁用のバス等の適正な運行管理を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J A F 講師による安全運転教室</li> <li>・プリウスPHVの導入</li> <li>・四輪安全運転教室に職員を派遣しました。（29回57人）</li> <li>・貸出車両及び庁用のバス等の適正な運行管理を図りました。</li> </ul>
<p>9 公共施設の総合的な管理の推進（営繕課）  決算見込額：0円 &lt;<b>基本計画事業</b> <b>行革P</b> <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 調布市公共建築物維持保全計画に基づく工事及び既存施設の老朽化対応の中でも早急な対応が必要な工事を発注し、建物及び設備の長寿命化を図るとともに、一部の施設で改良保全を行いました。</p> <p>(2) 維持保全担当者連絡会の開催等により、施設所管部署との連携強化と維持保全に関する情報の周知を図りました。</p> <p>(3) 施設利用者の安全・安心の確保に対応すべく、単価契約の項目を追加・修正するなど、緊急修繕等への対応強化を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係各課と連携を図りながら予定していた工事等を発注</li> <li>・維持保全担当者連絡会開催（令和2年7月3日に実施）</li> <li>・維持保全だより発行（令和2年6月、12月、令和3年3月の計3回）</li> <li>・建築工事における単価契約の項目を追加</li> </ul>

<p>10 調布市防災対策検討委員会の活用（総合防災安全課）</p> <p>決算見込額：0円 &lt;基本計画事業 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>複数部署が関連する防災に関する課題について、個別の計画や具体的な実施方法等について検討し、全庁的あるいは各部が協力して、防災に関する具体的な実施体制の整備を図りました。</p> <p>避難所部会では、全小・中学校で感染症対策を踏まえた校舎利用計画を策定し、避難所運営マニュアルへ付記しました。二次避難所部会では、二次避難所運営マニュアルを策定するとともに風水害時の避難行動要支援者の避難行動支援策を検討しました。帰宅困難者部会では、たづくり・グリーンホール避難所運営マニュアルを策定しました。物資物流部会では、風水害時のシミュレーションを行いました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災対策検討委員会の開催 令和2年8月 令和2年11月 令和3年1月</li> <li>・作業部会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①医療救護部会</li> <li>②避難所部会</li> <li>③二次避難所（福祉避難所）部会</li> <li>④帰宅困難者対策部会</li> <li>⑤物資物流部会</li> </ul> </li> </ul>
<p>11 防災備蓄品の確保・充実（総合防災安全課）</p> <p>決算見込額：3880万5000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>マスク、手指消毒液、非接触式体温計など新型コロナウイルス感染症対策備蓄を充実したほか、災害用マンホールトイレや非常用発電機を配備しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症対策備蓄の充実</li> </ul>
<p>12 災害情報システムの維持管理・充実（総合防災安全課）</p> <p>決算見込額：2億8991万9000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>移動系・固定系の防災行政無線について、デジタル化を推進し移動系の整備を完了しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動系（令和2年度完了）・固定系（令和3年度完了予定）の防災行政無線のデジタル化</li> </ul>
<p>13 消防団の対応能力の向上（総合防災安全課）</p> <p>決算見込額：5420万5000円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>消防ポンプ自動車2台の更新を行いました。また、消防団の安全性・機能性に資する装備の充実を図り、災害対応能力の維持・向上を図りました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車の更新 2台 （第6分団，第13分団）</li> <li>・消防団員の災害対応能力の維持・向上</li> </ul>
<p>14 消防水利の整備・維持管理（総合防災安全課）</p> <p>決算見込額：9654万円 &lt;<b>基本計画事業</b> 行革P <b>その他</b>&gt;</p> <p>(1) 災害時に迅速な消火活動が展開できるよう、消火栓の新設・維持管理を行いました。また、大規模災害発生時に、水道管の破損等により消火栓が使用できない場合に備え、防火貯水槽を整備し、消火能力の維持・向上を図りました。</p> <p>(2) 消防施設の老朽化に伴い、第7，第13分団機械器具置場の維持保全工事を実施し，第15分団機械器具置場の建替えに向けた設計業務に着手しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火貯水槽の整備</li> <li>・東京都水道局による消火栓の新設・維持管理委託</li> <li>・機械器具置場の改修及び建替え</li> </ul>

<p>15 地域での防犯パトロールの支援（総合防災安全課）</p> <p>決算見込額：228万9000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>地域の自治会や商店街，P T Aなどの防犯活動団体等に対するパトロール用品や防犯啓発用品の貸与による活動支援のほか，地域団体と行政との合同防犯パトロールを実施しました。また，自主青色防犯パトロール団体に対し，その活動費の一部を補助することで活動を支援しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防犯指導や合同パトロールの実施</li> <li>・自主防犯活動団体への支援の継続と支援体制の整備</li> <li>・自主青色防犯パトロールの参加団体の増加</li> </ul>
<p>16 犯罪抑止対策の推進（総合防災安全課）</p> <p>決算見込額：4984万4000円 &lt;基本計画事業 行革P その他&gt;</p> <p>青色回転灯を装着した青色2色塗装車による市内全域の夜間安全・安心パトロール及び下校時の児童・生徒の安全確保のため学校周辺や通学路を中心に子ども安全・安心パトロール実施しました。</p> <p>京王多摩川駅，柴崎駅周辺に街頭防犯カメラを設置しました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京王多摩川駅，柴崎駅周辺に街頭防犯カメラを設置</li> </ul>